



Walk with Children

めぐろ

大人 子供

せいび

171号
2021年7月

「光の子」として生活しなさい。実に、光の結ぶ実は、善意、正しさ、真実を
そなえたものです。主に喜んでいただけることは何であるかを見極めなさい。

(エフェゾ 5章8節~10節)

校長 シスター 小島 理恵

今年度が始まり、早3ヶ月が過ぎました。コロナ禍にあつて、様々な制限はかかっていますが、子どもたちは、日々意識して感染防止に努めています。

今学期の一大イベントは、やはり運動会でした。出番の学年のみが体育館に集まり、他学年は教室で中継を観ての参加という形をとりました。いつもは遠くから見ているですが、今回はカメラマンのカメラを通して、より近くから演技や競技を見ることができ、教室での応援にも熱が入りました。子どもたちからは、開催できたことの喜びが笑顔だけでなく口にも上っていました。保護者の皆様にもオンラインでご覧いただけましたことは、本当に良かったと思います。ご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

6月の学校

オリンピック・フラワー・プロジェクト

オリンピックの会場にお花を置いて、選手の人たちをみんなで応援するという目的で行われます。子ども達が植えたアサガオの種は、やがて花を咲かせてオリンピック会場に花を添えることでしょう。

みんなのあさがお

1ねんせい

ぼくは、あさがおをきれいにさかせたいとおもっています。なぜなら、オリンピックにでるせんしゅやみにくるひとたちをよろこばせたいからです。

ぼくは、ていねいにおみずをあさがおにあげています。きれいにさいてほしいなというきもちであげています。ぼくは、なつにあおいあさがおにあいたいとおもっています。

2年生の日記より

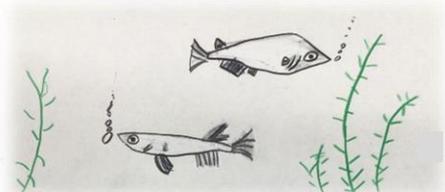
2年生は1週間に1度、必ず絵日記を書いて提出しています。子ども達は日々の生活の中に喜びを見つけて、その喜びを絵と文章で表現します。

めだかの赤ちゃんが生まれたよ

2年生

わたしは、めだかをかいました。3びきいて、今2ひきはたまごから出て、すいすいおよいでいます。そしてもう1ひきは、まだたまごの中で目をくりくりさせていて、かわいいです。

3びきが大人になったらたまごを生むので、なんひき生むのか、今からとてもたのしみです。そして、またそだててあげようと思います。



頑張りました！運動会

6月4日



今年の運動会は、学校の体育館で学年ごとに競技やダンスなどを行い、それをみんなで教室のテレビから応援するという形で行われました。それらの様子は、おうちで応援してくださっているご家族の方もオンラインで見ることができました。いつもと違う形でしたが、子ども達はいつも通りどの種目も一生懸命、そして楽しんで参加していました。

6年生

「運動会は学校で行います。」

校長先生がおっしゃった。最後の運動会は午前中だけだったが、とどろきアリーナで行えることを楽しみにしていたので、泣きっ面に蜂の状態だった。それでも学校でできることに感謝だ。

運動会が始まる。1～5年生が発表した。下級生に届いていると思って教室で精一杯応援した。

6年生男子の演技が始まる。楽しく元気にやりたいと思った。終わった時には達成感を感じた。次は綱引きだ。「がんばるぞ。」始まる前にみんなで声を掛け合った。手に力をいっぱい入れて引いた。負けると思っていたが、勝った。でも喜びは表さなかった。相手を不快な気持ちにさせたくなかったからだ。

閉会式が終わった。最後の運動会がこのような形で終わるとは想像していなかったが、6年間の1つの思い出になってうれしかった。

6年生

いよいよ私たちの出番、綱引きとフラフープダンスです。

ダンスでは、1曲目にフラフープを投げるところがあります。落とさずキャッチできるように何回も練習してきたのに、本番では顔に当たってしまい、すごく恥ずかしかったです。でもあまり気にしないようにして続けられました。元気で明るい感じの2曲目は、みんなで笑顔で踊ることができました。最後の大きな花を作るときには、もう終わってしまうのだとさびしくなりました。

綱引きでは、赤と白に分かれてどうやったら勝てるか話し合い、気持ちを1つにしてがんばりました。勝ったのがうれしいというよりも、みんなで綱引きができたことの方がうれしかったです。

今までの運動会とは違ったけれど、先生方が工夫して準備した運動会に、みんなで楽しく参加できて良かったです。



6年生

今日は私にとって小学校生活最後の運動会がある日です。運動会が始まったときは、あまり緊張しませんでした。出番の前に、体育館に行ったときや、ダンスの準備をしているとき、音楽がかかるのを待っているときに、失敗しないかとでも心配になり、緊張してきました。

ダンスが始まり、グループで花を作るときに、今までの緊張がふっと抜け、後は楽しんで踊ることができました。

閉会式のときは、これで小学校での運動会も終わりだと思うと、少しさびしくなりました。でも、運動会への練習を通して、このソーシャルディスタンスを保たなければならない時期の中でも、みんなとの心の距離が近くなった気がして、うれしかったです。これからも、いろいろな行事に向けてがんばりたいと思います。

6年生

ぼく達は集団行動と綱引きをしました。階段で待機していた時、カメラと人の数を見て、息が一しゅん止まりそうになりました。集団行動が始まる前の練習では、この練習が最後の練習だと心に強く言い聞かせました。するとなぜか、先生の号令しか耳に届かなくなりました。その時、「あ、これが集中か」と思いました。本番が始まると、さっきまで聞こえていなかった周囲の雑音が聞こえてきてしまいました。その時、「集中がとぎれてしまった」と少し気持ちが落ちましたが、すぐに心をきりかえようと思いました。競技を終えると、空気はうれしいような少しきんちょうしているような空気に感じられたので、成功したなと思い、安心しました。

今後の生活には、早く列に並ぶなど、そういう事も今回の運動会で学んだ協力の1つだと思うので、これからも続けていきたいと思いました。

目黒星美学園中学高等学校よりお便りが届いています。ご一読ください。

目黒星美学園小学校
保護者各位

目黒星美学園中学高等学校
校長 若松 悠紀子

令和3年度純花祭について

野も山もすっかり青葉に満つ季節、保護者の皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、9月19日（日）・20日（祝）の日程で予定しております令和3年度純花祭（学園祭）の実施形態について、中高で検討を重ねてまいりましたが、この度、コロナ禍の状況を鑑み、一般公開はせず、在校生各家庭2名の限定公開による実施とすることといたしました。

昨年につき、小学校の児童ならびに保護者の皆さまには、中高生の発表の様子をお見せできず、大変申し訳ありません。しかしながら、東京都では緊急事態宣言解除後も感染者数は減少せず、一方、感染力の強い変異株流入の報告もなされるなど、コロナ禍は依然予断を許さない状況です。

中高としましては、今後も社会全体としてワクチン接種がある程度進む等、事態が大きく好転していく流れを見すえつつ、学校行事を慎重に進めてまいりますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。